

セメントジャーナル社 メールマガジンVol. 26
コンクリート技士試験 受験対策演習問題
(コンクリート技士試験完全攻略問題集 2010年版より)

【品質管理】

- ・コンクリートの品質管理に関する次の記述のうち、適当なものはどれか。
 - (1) コンクリートの品質管理のための強度試験は、材齢28日において行わなければならない。
 - (2) 現場の工事が順調に進んでいる場合には、コンクリートの品質管理に気を配らなくてよい。
 - (3) コンクリートの圧縮強度の検査には、計量抜取検査を適用するのが一般的である。
 - (4) すべての管理特性値が管理図の管理限界の中にあれば、工程に異常はないと判断できる。

正解 (3)

- ・抜取検査には、計数抜取検査と計量抜取検査がある。一般に、計量抜取検査は計数抜取検査に比べて判定能力が高く、同じ精度で判定しようとする場合、試験回数が少なくてすむ。コンクリートの抜取検査は、1個の試験値を得るのに相当に手間がかかるので、計量抜取検査が適している。